

2021 年度事業報告書

特定非営利活動法人 とよなか ESD ネットワー

ク

I 事業期間

2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日まで

II 事業の成果

昨年度に引き続きコロナの状況を見ながらの 1 年でしたが、常に社会や環境の変化に対応しながら活動を継続できるよう工夫しました。オンラインでの事業開催は継続しながらも、対面での事業を部分的に再開するなどし、多様な関わり方を模索することを常に心がけました。

また、人材育成の観点では、若手スタッフの活躍と成長が目覚ましい 1 年でもありました。市民活動情報サロンの若手スタッフが、研修の一環で、豊中市主催の「SDGs 政策コンテスト」にエントリーしました。惜しくも入賞は逃しましたが、メンバー同士、予定を調整して何度も話し合い、公共政策を考える経験ができたことは、今後につながる大きな成果となりました。

一方で、公民の連携、協働においては、なかなか思うように進めることができませんでした。加えて、昨年度「豊中市における協働の文化づくり事業」最終年を迎えたまま、そこでの学びや制度の見直しに対して、何も投げかけができなかったことが悔やまれます。市民自治を推進していくためにも、公民の対話の機会を積極的につくっていくことを次年度の課題に据えていきます。

III 事業の実施に関する事項

1. 協働育成事業

1 学校支援事業

・学校出前授業

【内 容】 ライフデザイン講座の出前授業。多様な大人に自身の生き方について語ってもらい、生徒に質問をしてもらった。家庭科の授業で、自分のライフプランを立てるための材料として活用。

【実施日時】 2 月

【実施場所】 刀根山高校

・教職員研修

【内 容】 豊中市教職員 10 年目研修にて「学校・家庭・地域の連携」について講演を行なった。(録画動画を配信)

【実施場所】 豊中市教育センター

【実施日時】 7 月中

2 子ども・若者向け事業

・学習支援「おもろ荘プロジェクト」

行政からの受託 2 期目となった「おもろ荘プロジェクト」においては、若手スタッフが中心となり公募に挑戦し採択。その後もボランティアと共に、自立的な居場所を継続。事業を始めた当初、不登校だった子どもたちも徐々に学校に行きつつあり、スタッフも子どもたちにも目覚ましい変化や成長が見られた一年となった。

【内 容】 学ぶ環境が整っていない子どもや学校に行きにくい中高生の学習支援を行った。

【実施場所】 C A N V A みんなの学び場

【実施日時】 2021 年 4 月～2022 年 3 月

3 市民活動団体支援

受託最終年となった今年度は、昨年度に引き続き、北摂の支援センターと連携した伴走支援に取り組んだり、「子どもの居場所ネットワーク事業」と連携した団体立ち上げ支援など、民同士の協働を促進することができた。昨年度の I T 対応への状況を踏まえ、今年度は I T 相談専門スタッフを雇用することができ、よりきめ細やかなサービスを提供することができた。また、情報誌 tane の発行を行うことで、新たな市民層に向けての発信を行うことができた。

【内 容】 市民活動情報サロンの委託運營業務

【実施場所】 市民活動情報サロン

【実施日時】 2021年4月～2022年3月

【事業の対象者】 市民公益活動団体、ボランティアをしたい市民など

4 地域の担い手育成

今期で5期目となる本事業については、参加者の意識が例年と異なり、サポートの仕方に困難を極めた。コロナ禍における若い世代の課題意識の違いについて、運営委員としての意識改革が迫られた一年となった。

【内 容】 とよなか地域創生塾でのワークショップ講師や塾生サポートを行った。

【実施場所】 人権平和センターなど

【実施日時】 2021年4月～2022年3月

【事業の対象者】 塾生、豊中市民など

2. 連携促進事業

1 学校、家庭、地域の連携コーディネート

調査研究から数えて足掛け5年目となるこの事業では、地域コーディネーターが活躍し、それぞれの担当地域での交流会の開催や分野を超えたネットワークが生まれた。ボランティア講座の受講生からも複数の居場所が立ち上がるなど、地域における「子どもを見守る眼差し」が少しずつ育ってきていることを感じる一年だった。また居場所で見守ることが難しい要支援の子どもたちに向けてのしくみづくりについても、行政と協働で検討する足掛かりを作ることができた。

【内 容】 子どもの居場所ネットワーク事業

【実施場所】 市内全域

【実施日時】 2021年4月～2022年3月

2 協働の文化づくり事業

コミュニティ政策課との協働事業が終了し、本格的な制度の見直しについて審議会を中心に進めていただく予定の年だったが、実現ができなかった。

【内 容】 市との事業提案期間は終了したが、全ての事業において協働を推進する。

【実施場所】 市内全域

【実施日時】 通年

【収 入】 0円

【支 出】 0円

3 ESD情報の収集と連携づくり

【内 容】 ESDリソースセンターWEB運営事業

【実施場所】 当法人事務所ほか

【実施日時】 2021年4月～2022年3月

4 ESD教材開発

【内 容】 SDGsの研修プログラムの開発と実施を行った。

【実施場所】 環境交流センター、クリーンランド他

【実施日時】 随時

3. ESDの情報収集・発信

【内 容】 ESDに関する情報を収集し、ホームページなどで発信していく。

【実施場所】 当法人事務所

【実施日時】 随時

【事業の対象者】 学校教育関係者・豊中市民・ESDに関心のある市民

4. 講師派遣

【内 容】

- ・豊中・吹田・能勢町の小学生向け合同デイキャンプのコーディネートを行なった。(7月)
- ・クリーンランドで市民向けにSDGsの理解・促進に向けた研修を行った。(通年)
- ・豊中市職員に向けて「子どもの権利」に関する研修を行なった。(11月)
- ・きんき環境局の公民協働のパネルディスカッションに登壇した。(11月)
- ・三田市にて行政との協働に関するパネルディスカッションに登壇した。(12月)
- ・大阪大学の子ども居場所に関するパネルディスカッションに登壇した。(2月)
- ・環境交流センターにて、子育て世代向けのESDセミナーの講師を行なった。(3月) など

IV 社員総会の開催

・2021年5月16日(日)19:00~21:00までオンラインにて2021年社員総会を開催し、2020年度事業報告(案)と決算(案)、2021年度事業計画(案)と予算(案)について審議した結果、全て可決承認された。

出席者は、社員15名のうち参加者9名、委任状提出者2名を含めて11名であった。

V 理事会運営

定例理事会をつぎのとおり開催する中で、団体のビジョンミッションの確認を行った。また、その理念に沿った事業展開ができてきているかの確認を行いながら、事業企画も進めた。

2021年度 定期理事会

- 第1回理事会 4月23日(金) 8名
- 第2回理事会 6月17日(木) 6名
- 第3回理事会 7月15日(木) 7名
- 第4回理事会 9月16日(木) 6名
- 第5回理事会 10月14日(木) 7名
- 第6回理事会 11月18日(木) 8名
- 第7回理事会 12月23日(木) 8名
- 第8回理事会 2月10日(木) 8名